

# ジョン・アーリ著 『社会を越える社会学 移動・環境・シチズンシップ』

ジョン・アーリ著、吉原直樹監訳。2006年5月刊、法政大学出版局刊。462頁。

モノ、コト、ヒト、イメージが「社会を越える」ことによって社会学はいかなる方向に向かうのか。市民社会論と時間・空間論を両輪に、従来の社会学においてブラックボックスとなっていた「移動」概念に焦点を当てることで、社会学の再構築をはかる。

そして、レジャーや仕事のための旅行から、情報や廃棄物の移動、都市テロや伝染病まで、21世紀の身体上、想像上、バーチャル上の移動と越境を論じ、ポスト国民国家における脱中心的な市民社会を予見する。

## 目次

日本語版序文（吉原直樹訳）

### 1章 社会（和泉浩訳）

はじめに / 「社会などというものは存在しない」 / 社会学のさらなる新しい方法的規準

### 2章 メタファー（菱山宏輔訳）

はじめに / 移動性のメタファー / グローバルなもののメタファー / 球体と圏域 / 結び

### 3章 旅行（高橋雅也訳）

はじめに / 身体的旅行 / モノの移動 / 想像上の移動 / バーチャルな旅行 / 結び

### 4章 感覚（武田篤志訳）

はじめに / 視覚性 / 嗅ぐこと、聴くこと、触ること / 結び

### 5章 時間（伊藤嘉高訳）

はじめに / 社会的時間と生きられる時間 / 自然の時間と社会の時間 / 瞬間的時間 / 結び

### 6章 居住（伊藤嘉高訳）

居住とコミュニティ / ローカルな帰属 / プント / 文化遺産、国民、ディアスポラ / 結び

### 7章 シチズンシップ（三島崇訳）

はじめに / シチズンシップをめぐる論争 / シチズンシップと環境 / グローバルな市民 / 結び

### 8章 社会学（末良哲訳）

庭園師と猟場番人 / 移動する市民社会 / 移動を調整する / 移動する自然 / 複雑な移動性 / 結び

訳者解説

訳注・訳語対照ほか

## ジョン・アーリ『社会を越える社会学』訳注・訳語対照

### 書評

- ・北田暁大氏（東京大学大学院情報学環助教授），2006，「『移動』に焦点を当てて理論を構築」『朝日新聞』7月9日号。
- ・山本哲士氏（信州大学教授），2006，「『論理の旅』 = 『移動の書』」『週刊読書人』9月8日号。
- ・堀田泉氏（近畿大学教授），2006，「『社会は越えられた』のか？」『ヘスティアとクリオ』4:125-30.
- ・堤研二氏（大阪大学教授），2006，『社会学研究』81.（近刊）